



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,247	10.1	2,019	3.8	1,902	7.5	1,321	3.2
2019年3月期第2四半期	26,981	19.5	1,945	102.8	1,769	103.6	1,280	85.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,328百万円 (0.4%) 2019年3月期第2四半期 1,333百万円 (56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	299.62	
2019年3月期第2四半期	290.75	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	57,972	19,094	32.9	4,326.37
2019年3月期	61,967	18,368	29.6	4,166.33

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,094百万円 2019年3月期 18,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		140.00	
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は140円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	5.8	3,600	10.0	3,100	18.0	2,100	15.3	476.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	5,192,619 株	2019年3月期	5,192,619 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	779,167 株	2019年3月期	783,807 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	4,410,406 株	2019年3月期2Q	4,405,678 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、FPD (Flat Panel Display) 業界については、大型パネル向け設備投資、中小型パネル向け設備投資ともに一部で調整傾向が見られました。半導体業界については、メモリ向け設備投資に回復の遅れが見られましたが、ロジック/ファウンドリ向け設備投資や中国での設備投資は堅調に推移しました。一方、OSAT (後工程受託メーカー) での設備投資は調整傾向が見られました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は24,016百万円 (前年同期比16.7%減) となり、前半期より回復傾向にあったものの前年同期に比べ減少となりました。売上高は24,247百万円 (前年同期比10.1%減)、営業利益は2,019百万円 (前年同期比3.8%増)、経常利益は1,902百万円 (前年同期比7.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,321百万円 (前年同期比3.2%増) となり、減収増益となりました。

②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

(ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程では、受注高は中小型パネル向け装置を中心に前年同期に比べ増加しましたが、売上高は前半期の受注減少の影響などにより減少しました。半導体前工程では、ロジック/ファウンドリ向けやウェーハ向けを中心に受注が堅調に推移したことから売上高も増加しました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高は増加しましたが売上高は減少し13,058百万円 (前年同期比9.3%減) となりました。セグメント利益は半導体前工程の増収に加え機種構成の変化やコストの改善などにより、655百万円 (前年同期比72.5%増) となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程では、受注は大型パネル向け装置を中心に前半期より増加しましたが、活況を呈した前年同期に比べ減少し、売上高も減少しました。半導体後工程では、モバイルデバイス用部品向け設備投資を中心に調整傾向が見られ、前年同期に比べ、受注高、売上高がともに減少しました。真空応用装置では、車載関連・電子部品関連向け成膜装置を中心とした顧客設備投資計画の変更などにより受注高が減少しましたが、売上高は微増となりました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高、売上高がともに減少し売上高は9,146百万円 (前年同期比13.3%減) となりました。セグメント利益は減収の影響などにより減少し1,235百万円 (前年同期比16.6%減) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,994百万円減少し57,972百万円となりました。これは主に、現金及び預金が942百万円、受取手形及び売掛金が2,033百万円、未収入金が621百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,720百万円減少し38,878百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,650百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ725百万円増加し19,094百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,321百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ942百万円減少し12,228百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は107百万円（前年同期は5,126百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少により資金が増加した一方で仕入債務の減少、法人税等の支払により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は344百万円（前年同期は325百万円の減少）となりました。これは主に、固定資産の取得により資金が減少したことによるものです。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、452百万円の減少（前年同期は4,801百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は422百万円（前年同期は365百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払いにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正につきましては、本日（2019年11月7日）公表しました「2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で把握可能な情報をもとに判断し作成しております。当社グループの主要顧客であるFPD・半導体業界は、変化の激しい業界であり、実際の売上高及び利益は、予想数値とは異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,186	12,243
受取手形及び売掛金	30,243	28,209
電子記録債権	495	492
商品及び製品	1,120	853
仕掛品	2,128	2,096
原材料及び貯蔵品	227	262
未収入金	1,902	1,280
その他	394	378
貸倒引当金	△197	△639
流動資産合計	49,500	45,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,919	28,970
減価償却累計額	△20,092	△20,284
建物及び構築物 (純額)	8,826	8,685
機械装置及び運搬具	4,977	5,465
減価償却累計額	△4,085	△4,383
機械装置及び運搬具 (純額)	892	1,082
工具、器具及び備品	964	944
減価償却累計額	△742	△749
工具、器具及び備品 (純額)	221	194
土地	119	119
リース資産	297	287
減価償却累計額	△278	△268
リース資産 (純額)	18	18
建設仮勘定	457	892
有形固定資産合計	10,536	10,993
無形固定資産		
特許権	309	306
その他	372	406
無形固定資産合計	682	713
投資その他の資産		
投資有価証券	123	121
長期前払費用	16	13
繰延税金資産	826	696
その他	282	259
貸倒引当金	△1	△2
投資その他の資産合計	1,247	1,089
固定資産合計	12,466	12,796
資産合計	61,967	57,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,134	11,484
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	4,500	3,700
リース債務	5	5
未払法人税等	1,156	527
未払費用	3,518	3,276
前受金	1,074	943
役員賞与引当金	39	15
受注損失引当金	3	-
その他	768	540
流動負債合計	31,300	25,591
固定負債		
長期借入金	1,500	2,500
リース債務	13	14
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,349	7,340
役員退職慰労引当金	14	18
修繕引当金	304	296
資産除去債務	36	36
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	12,298	13,286
負債合計	43,598	38,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	7,391	8,093
自己株式	△4,037	△4,021
株主資本合計	19,152	19,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	27
為替換算調整勘定	282	212
退職給付に係る調整累計額	△1,095	△1,015
その他の包括利益累計額合計	△784	△776
純資産合計	18,368	19,094
負債純資産合計	61,967	57,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	26,981	24,247
売上原価	19,462	16,458
売上総利益	7,519	7,788
販売費及び一般管理費	5,574	5,769
営業利益	1,945	2,019
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	1
為替差益	173	-
デリバティブ評価益	-	49
その他	39	13
営業外収益合計	215	66
営業外費用		
支払利息	65	64
為替差損	-	26
デリバティブ評価損	289	-
その他	37	91
営業外費用合計	391	182
経常利益	1,769	1,902
税金等調整前四半期純利益	1,769	1,902
法人税、住民税及び事業税	445	451
法人税等調整額	42	129
法人税等合計	488	581
四半期純利益	1,280	1,321
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,280	1,321

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,280	1,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△1
為替換算調整勘定	△71	△70
退職給付に係る調整額	116	79
その他の包括利益合計	52	7
四半期包括利益	1,333	1,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,333	1,328

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,769	1,902
減価償却費	736	674
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22	442
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	100	70
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	65	64
為替差損益 (△は益)	△15	△9
前受金の増減額 (△は減少)	191	△121
売上債権の増減額 (△は増加)	1,648	2,011
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△445	△594
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,687	△3,960
未収入金の増減額 (△は増加)	325	621
その他	△450	△111
小計	5,632	987
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△64	△64
法人税等の支払額	△444	△1,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,126	△107
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△316	△218
有形固定資産の売却による収入	0	-
その他	△8	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325	△344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△11	△2
長期借入れによる収入	-	2,200
長期借入金の返済による支出	-	△2,000
配当金の支払額	△354	△619
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△365	△422
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64	△67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,371	△942
現金及び現金同等物の期首残高	13,384	13,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,755	12,228

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	14,399	10,553	1,011	1,016	26,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	76	—	—	114
計	14,437	10,630	1,011	1,016	27,095
セグメント利益	380	1,480	4	295	2,160

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,160
全社費用(注)	△221
その他	△169
四半期連結損益計算書の経常利益	1,769

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	13,058	9,146	1,084	958	24,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	103	-	-	124
計	13,079	9,250	1,084	958	24,372
セグメント利益又はセグメント損失(△)	655	1,235	△27	277	2,141

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,141
全社費用(注)	△184
その他	△53
四半期連結損益計算書の経常利益	1,902

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。